

調湿形内装用模様塗材[珪藻土配合]

調湿クリーン

調湿
超低VOC、超低臭
ホルムアルデヒド吸着
防かび、結露防止

防火材料

JIS A 6909
建築用仕上塗材
調湿形内装薄塗材E
F☆☆☆☆

調湿クリーン

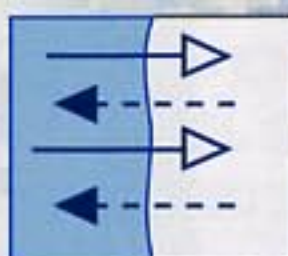
調湿クリーンは、珪藻土を配合し自然感覚の土壁のやさしさを取り入れた内装用仕上塗材です。室内の湿度をコントロールし、快適環境を提供する仕上塗材です。

超低VOC、超低臭はもちろん、ホルムアルデヒドを吸着する機能を持った、まったく新しいタイプの塗材です。

調湿クリーンは、天然素材を使用しています。

調湿性

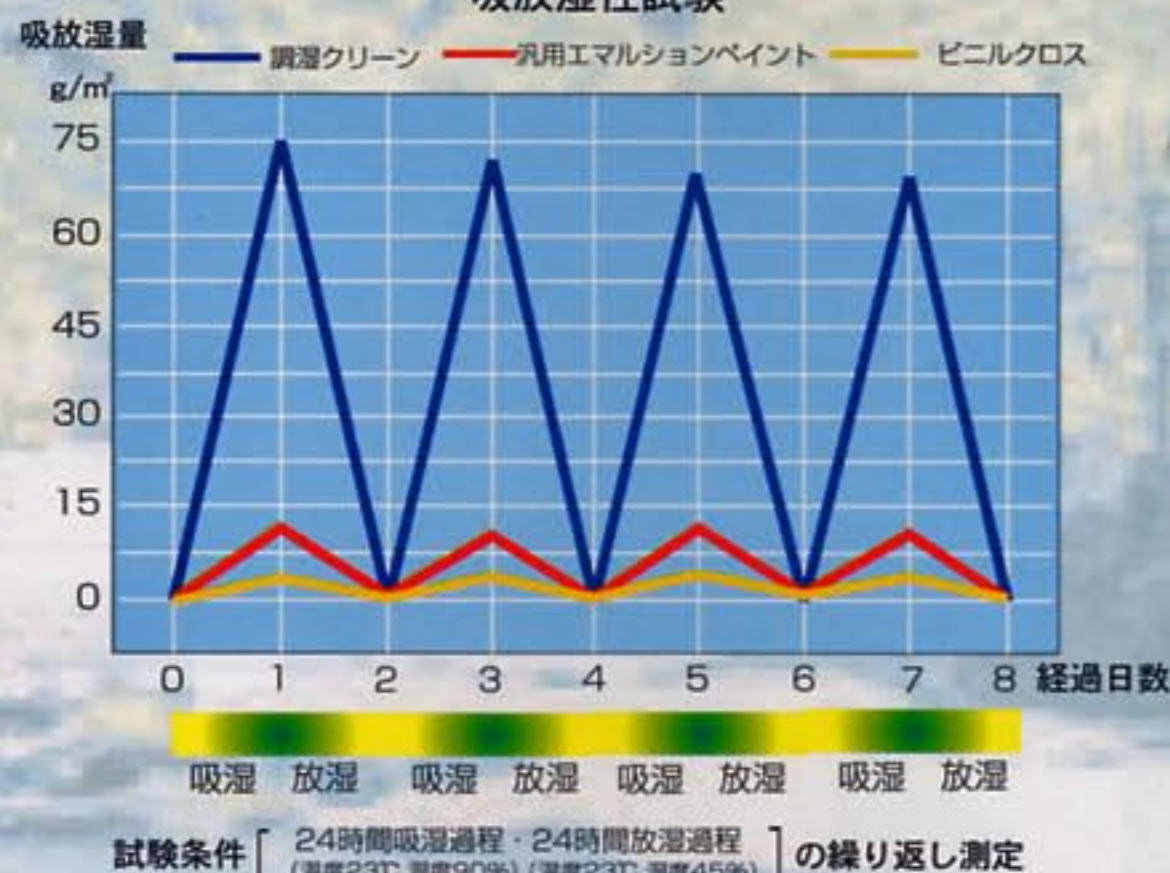
珪藻土が持つ調湿機能（湿度が高いと湿気を吸収、低いと放湿する）が作用し、室内の湿度をコントロールします。



珪藻土とは

珪藻土は、太古に生息した植物のプランクトンの死骸が推積してできた粘土質の泥土（珪藻殻）です。この珪藻殻は表面に無数の細孔があり、優れた断熱性、調湿性、保温性、吸収・吸着性を持ち「健康材料」として注目を集めている天然素材です。「調湿クリーン」は、塗膜中の体積比で約25%の珪藻土を含有しています。

吸放湿性試験



調湿クリーンは、超低VOC・超低臭です。

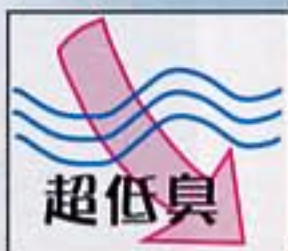
高い安全性

VOC (揮発性有機化合物) 成分をほとんど含みませんので、安全性が高く、環境にやさしい塗料です。

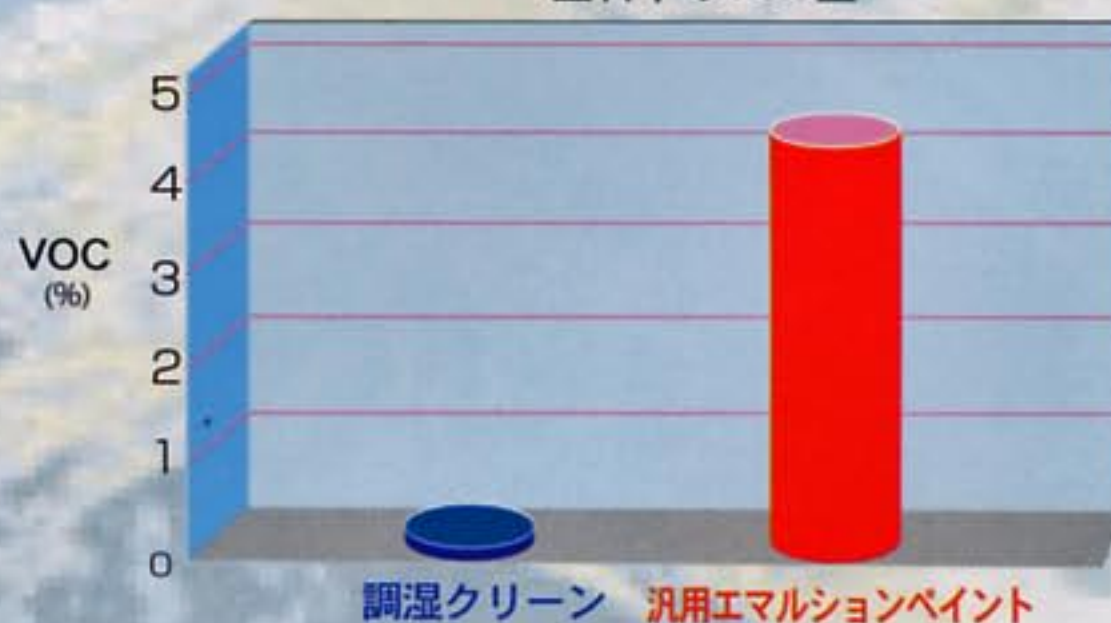


快適設計

原料（樹脂、添加剤、顔料など）に極力臭いの少ないものを使用し、超低臭化を完成させました。



塗料中のVOC量



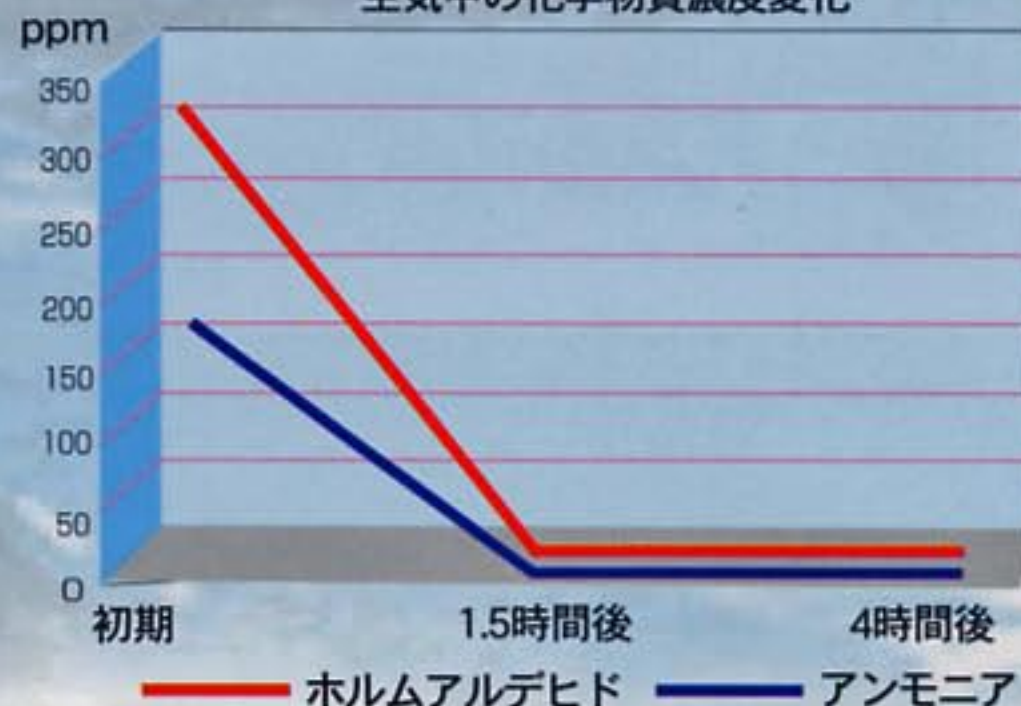
調湿クリーンは、ホルムアルデヒドを吸着する機能を持っています。

ホルムアルデヒドを吸着

吸着剤を含有させているのでホルムアルデヒドを吸着して室内を清潔に保ちます。



空気中の化学物質濃度変化



調湿クリーンは、JIS及び防火性能認定品です。



JIS、防火性能規格品

JIS A 6909建築用仕上塗材、調湿形内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材規格品です。

性能

試験方法は JIS A 6909調湿形内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材に準ずる。

試験項目	試験成績	規格・試験方法
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離及び凝集がないこと。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがないこと。
付着強さ N/mm ²	標準状態 0.4	0.3以上
耐洗浄性	合格	はがれ及び摩耗による基板の露出がないこと。
耐衝撃性	合格	ひび割れ、著しい変形及びはがれがないこと。
耐アルカリ性 A 法	合格	ひび割れ、はがれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくないこと。
耐変退色性	合格	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。
吸放湿性 g/m ²	73	70以上
防かび性	合格	JIS Z 2911に準ずる（4週間後の評価）かび発生のないこと。

●ホルムアルデヒド放散等級区分F☆☆☆☆ですので内装仕上げに制限なしに使用できます。

●塗膜は国土交通大臣認定防火材料です。

認定番号	品目名/区分
NM-8572	有機質砂壁状塗料塗り/不燃材料
QM-9812	有機質砂壁状塗料塗り/準不燃材料
RM-9361	有機質砂壁状塗料塗り/難燃材料



防かび性、結露防止性

強力な防かび剤により、かびの発生を抑え、優れた吸湿作用は結露の発生を防止します。



調湿クリーン



汎用エマルジョンペイント

試験方法：JIS Z 2911かび抵抗性試験方法による

試験期間 4週間

試験菌 アスペルギルス ニゲル、
ペニシリウム フニクロスム
クラドスポリウム クラドスポリオイデス
オーレオバジジウム フルランス
グリオクラジウム ビレンス



直接施工OK

ビニルクロスに直接施工できます。

用途

戸建住宅、集合住宅、オフィスビル（事務所・店舗など）
医院・医療機関、学校、保育園、老人福祉施設、ホテル、
その他公共施設

適用部位 … 内壁、柱、廊下壁、階段壁

適用素地 … せっこうボード、モルタル、スレート、ビニル
クロス、鋼板、亜鉛鉄板、アルミ、ステンレス

容量

調湿クリーン（白及び淡彩色） ……20kg
（中彩色はお問い合わせください）

調湿クリーンは、テクスチャーが豊富です。

ローラー、吹付け、コテ仕上げと豊富なテクスチャーパターンがあります。

【下地調整】

◆せっこうボード、モルタル、スレート下地の下地調整

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ごみ、汚れなどは除去し、平滑にする。 不陸、目違い、巣穴などはパテなどの下地調整材で平滑にする。(パテはアクリルエマルジョンパテを使用してください。) 木ネジ、釘などで防錆処理されていない箇所はエポマイルドを塗布する。 					
2	下塗り	AEPクリーンシーラーホワイト 清水	100 10~30	0.10~0.14	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

◆鋼板、亜鉛鉄板、アルミニウム板、ステンレス板下地の下地調整

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> サンダー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどでさび、黒皮などを除去する。(2種ケレン程度) 水分、油分などの付着物は完全に清拭する。 					
2	下塗り (さび止め)	エポマイルド	100	0.12~0.16	1~2 ※	(工程内)3時間以上 (工程間)16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

※鋼板の場合は必ずエポマイルドを2回塗りしてください。

◆ビニルクロス下地の下地調整

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ごみ、汚れ、ほこりなどは十分にふき取り、清掃する。 油汚れ、ヤニなどは、洗剤などで十分にふき取る。 カビが発生している箇所は殺菌剤、防かび剤で処理する。 クロスのはがれ、浮きはエマルジョンボンドを用いて補修する。 破れ、傷はエマルジョンパテまたは類似模様のビニルクロスで補修する。 				

【標準施工仕様】

ローラー工法

▼さざなみ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.4~0.6	1	6時間以上	パターンローラー 細目塗り
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.4~0.6	1	(最終養生) 24時間以上	パターンローラー 細目塗り



- パターンローラーは細目を用い、均一に塗装してください。
- 模様塗りは、最後に、ローラーを下から上にローラーを軽く転がし、パターンをそろえてください。

▼ゆずはだ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.8~1.0	1	6時間以上	吹付け 万能ガン (口径5.5mm 吹付圧0.4Mpa)
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.8~1.0	1	(最終養生) 24時間以上	吹付け 万能ガン (口径5.5mm 吹付圧0.4Mpa)



- 万能ガン(明治AGA形)を用い、均一に塗装してください。
- 下記のような場合は、タレを生じるおそれがありますので、希釈、所要量にご注意ください。
 - ・吹きすぎた場合
 - ・ビニルクロスなど吸い込みのない面の場合
 - ・低温、多湿時の施工の場合
- 補修塗りにつて
 - ・線状の傷などは、同一ロットの調湿クリーンを、小筆を用い柄を合わせるように塗ってください。
 - ・大きい傷の補修は、周辺部を養生し、傷面を中心に、凸部柄も含め、軽くペーパーで研磨し平滑にする。同一ロットの調湿クリーンを吹付け、柄を合わせてください。(はけでの補修塗りは避けてください。)

▼凹凸小柄仕上げ

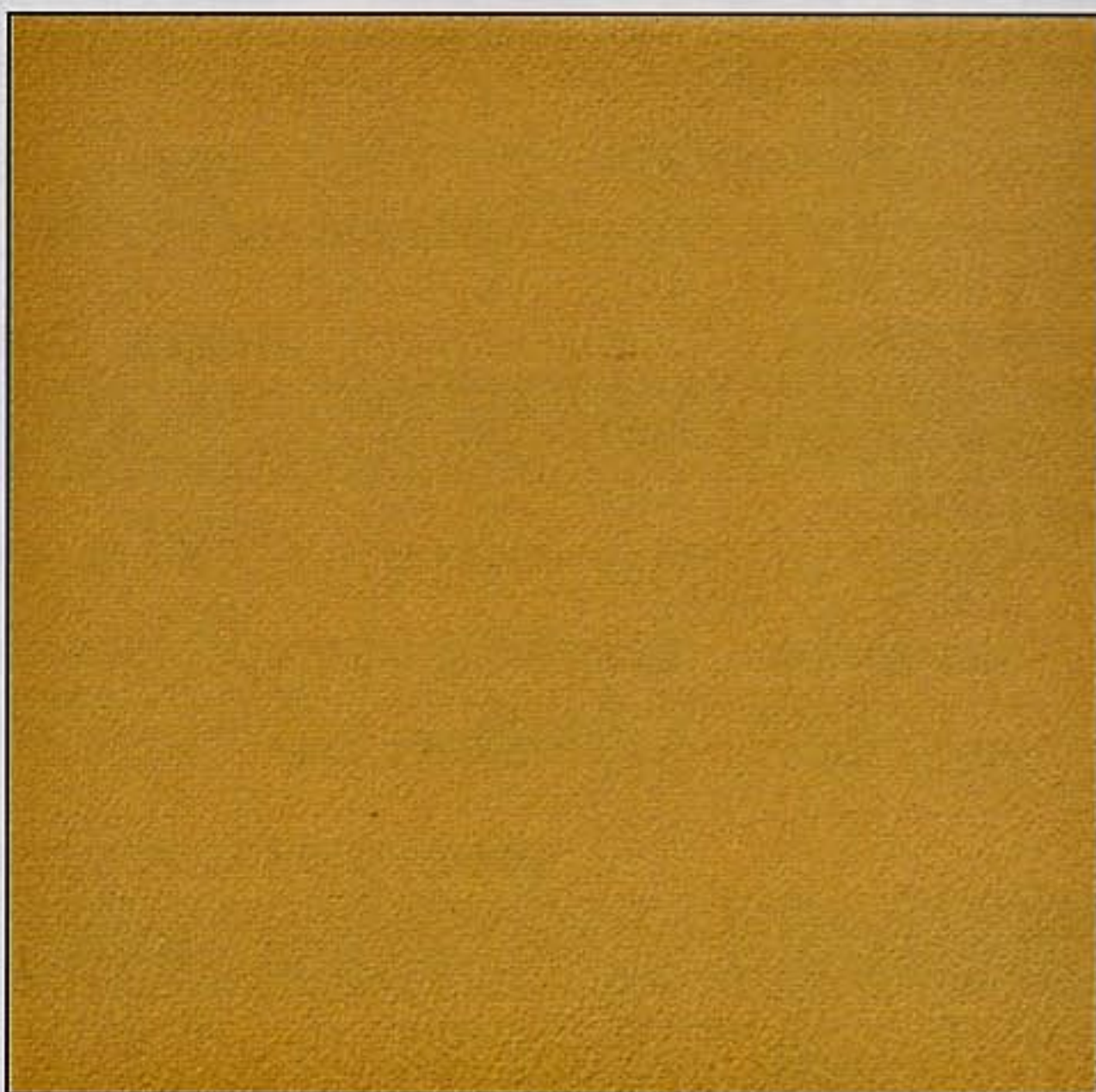
工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.8~1.0	1	6時間以上	吹付け 万能ガン (口径5.5mm 吹付圧0.4Mpa)
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 清水	100 3~8	0.3~0.5	1	(最終養生) 24時間以上	吹付け 万能ガン (口径5.5mm 吹付圧0.2Mpa)



- 万能ガン(明治AGA形)を用い、均一に塗装してください。
- 下記のような場合は、タレを生じるおそれがありますので、希釈、所要量にご注意ください。
 - ・吹きすぎた場合
 - ・ビニルクロスなど吸い込みのない面の場合
 - ・低温、多湿時の施工の場合
- 補修塗りにつて
 - ・線状の傷などは、同一ロットの調湿クリーンを、小筆を用い柄を合わせるように塗ってください。
 - ・大きい傷の補修は、周辺部を養生し、傷面を中心に、凸部柄も含め、軽くペーパーで研磨し平滑にする。同一ロットの調湿クリーンを吹付け、柄を合わせてください。(はけでの補修塗りは避けてください。)

▼フラット仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	0.7~0.8	1	6時間以上	コテ塗り
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	1.0~1.2	1	(最終養生) 24時間以上	コテ塗り



- 角ゴテを用いて、押え付けるように平滑に仕上げてください。
- 塗り継ぎ部は、ムラを生じるおそれがありますので、2~3m以内で化粧目地を設けてください。

▼ヒキズリ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	0.7~0.8	1	6時間以上	コテ塗り
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	1.4~1.5	1	0	コテ塗り
5	模様付け	金ゴテによる模様付け				(最終養生) 24時間以上	



- 均一に2~3mm厚に塗り付け、ただちにコテの後方を浮かせて、先端のみで軽く押さえ、素早く横方向に10~20cm引きずります。
- 引きずり柄を重ねるように(すでに付けた模様の山部に次のコテ先が当たるように) 連続して模様付けしてください。
- 塗り継ぎ部は、ムラを生じるおそれがありますので、巾1m以内で化粧目地を設けてください。

▼スバニッシュ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	0.7~0.8	1	6時間以上	コテ塗り
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	1.2~1.4	1	0	コテ塗り
5	模様付け	金ゴテによる模様付け				(最終養生) 24時間以上	



- 均一に1~2mm厚に塗り付け、ただちにコテのエッジで、縦、横、斜めに押えながら模様付けしてください。
- エッジに材料が付着したら、その都度清掃してください。
- 塗り継ぎ部は、ムラを生じるおそれがありますので、2~3m以内で化粧目地を設けてください。

▼ウェーブ仕上げ

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●下地別に準ず					
2	下塗り						
3	主材 基層塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	0.7~0.8	1	6時間以上	コテ塗り
4	主材 模様塗り	調湿クリーン 寒水石1厘 清水	100 (20kg) 100 (20kg) 0~5	1.2~1.4	1	0	コテ塗り
5	模様付け	金ゴテによる模様付け				(最終養生) 24時間以上	



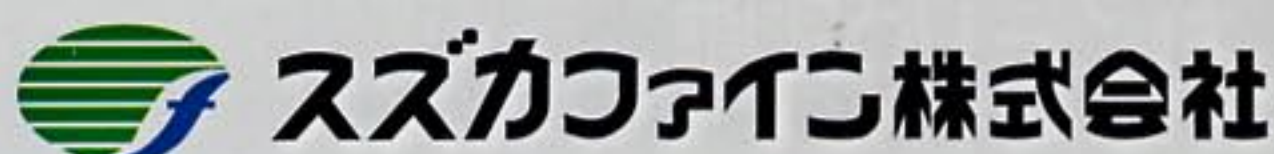
- 均一に1~2mm厚に塗り付け、コテ波を消さずに残したまま模様にしてください。
- 塗り継ぎ部は、ムラを生じるおそれがありますので、2~3m以内で化粧目地を設けてください。

【施工上の注意事項】

- 低温（5℃以下）、高湿度（85%以上）での施工は避けてください。
- 使用前に塗材はハンドミキサーなどで均一にかくはんし、清水で粘度調整してください。
- 塗材の所要量は遵守してください。所要量以下ですと塗膜の調湿効果が十分発揮されません。尚、コテ工法の所要量は調湿クリーンと寒水石を混合した材料の量です。
- 模様、仕上りなどを、試し塗りで確認後、本施工に入ってください。
- 乾燥時、塗面に直接風が当たらないように注意してください。
- 調湿性のある材料ですから、乾燥時間は温度、湿度に影響されやすいので冬期、梅雨時期は乾燥時間を長めに取ってください。また、温度が低い時は、塗膜の乾燥が早くなりますので、塗り継ぎは早めに行ってください。
- コテは、さびることがありますので、使用後は速やかに洗浄してください。ステンレス製ゴテの使用も可能です。
- 手あかなどの汚れは、湿らせたウエスをたんぽにして、たたくように拭き取ってください。

◀ 取扱い上の注意事項 ▶

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県三重郡楠町小倉1058-4 ☎0593-97-6190 FAX 0593-97-6191
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX 0593-46-4585

ISO 9001 認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
旭川出張所 ☎0166-29-6111	東北営業所 ☎0224-82-1633	群馬出張所 ☎027-253-4821
埼玉営業所 ☎048-643-7180	千葉出張所 ☎043-486-0096	神奈川営業所 ☎046-286-3220
新潟営業所 ☎025-271-2345	富山営業所 ☎076-421-5578	金沢営業所 ☎076-267-1922
静岡営業所 ☎054-236-0825	三重出張所 ☎0593-97-6115	平野営業所 ☎06-6791-6291
播磨営業所 ☎0791-67-1468	和歌山出張所 ☎073-461-2711	岡山出張所 ☎086-470-2808
松山出張所 ☎089-922-0577	北九州出張所 ☎093-562-1503	熊本出張所 ☎096-378-1795
宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-265-9480	沖縄営業所 ☎098-884-6054

取扱店

35